

平成30年度事業計画

士幌町社会福祉協議会

(5) 議案第2号 平成30年度 士幌町社会福祉協議会事業計画(案)

I はじめに

近年の地域社会は、少子高齢化の進行や人口減少を背景に、地域を取り巻く環境や家族の形態も変化するとともに、支援を必要とする方々の生活課題、福祉課題が多様化しています。

また、高齢者人口の増加や核家族化に伴い、独居や家族関係の希薄な世帯も増え続けており、地域に暮らす一人ひとりが住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう地域福祉の推進が求められています。

本会ではこうした課題を見据え、地域福祉の根幹である住民相互の「支え合い活動」がさらに積極的に展開されるように地域福祉の基盤づくりとともに、地域福祉を支える人づくりを進めてまいります。

本年度は、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり」を基本目標とした、「第5期地域福祉実践計画(平成28年度～平成32年度)」の中間年となりますので、役員の皆様にも3つの基本計画と2つの重点課題の意義についてご理解を賜りながら、その実現に向けて鋭意努力をしてまいります。

また、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現するために地域での支え合い活動を推進する「生活支援体制整備事業」は、町からの受託事業で2年目となりますので、地域での支え合い体制の整備に努めるとともに、支援を必要とする人に無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供することが、社会福祉法人の責務であることから、その推進と充実に努めてまいります。

具体的な取り組みとしては、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」としての自覚を新たに、住民が積極的に地域の課題解決に参加出来るよう「生活支援体制整備事業の推進」・「ふれあい・いきいきサロン活動の推進」・「安心安全地域づくりのための見守りネットワークの推進」の3つの施策を重点的に取り組んでまいります。

重点事項

①生活支援体制整備事業の推進

平成26年の介護保険制度の改正により、町が実施する「新地域支援事業」のうち「生活支援体制整備事業」は町からの受託事業で2年目となりますが、地域における支え合い体制の整備に努めるとともに、地域の中で介護予防・生活支援サービスの充実に努めてまいります。

②ふれあい・いきいきサロンの充実強化

サロン活動は、高齢者等の閉じこもり防止や、気軽に集い地域における「繋がり」を保ち続ける場として、町内13地区公民館の全てにサロンが組織されていることから、今後も利用者のニーズをくみ取りながら、その内容の充実を図るために、ボランティアの皆様と協議を重ねてまいります。

また、社協に配置されているワゴン車がサロンの送迎用として積極的に利用が図られるようPRに努めると共に、住民の住民による住民のための地域福祉活動を支援してまいります。

③安心安全地域づくりのための見守りネットワークの推進

独居や高齢者世帯等を対象に万が一の病気や事故、災害等に備え、重要な医療情報や緊急連絡先の情報を冷蔵庫に保管する緊急医療情報キット（命のボタン）の設置とあわせて、平常時から見守りや災害発生時等に避難行動に支援が必要な高齢者や障がい者の方を支えるため、役員等が中心となって地域における見守りネットワークの構築に努めてまいります。

Ⅱ 事業計画の概要

事業名	目的・内容	予定・実施回数・時期
法人運営事業 サービス区分		
1) 社協組織の充実・基盤強化	<p>① 地域福祉及び在宅福祉等の事業を計画的に展開するため、組織体制の整備や財政運営の健全化に努め、社協の経営基盤を強化し、地域住民と連携・協働していく。</p> <p>② 定款・事業計画・予算・地域活動・ボランティア活動等の情報発信を行うとともに、個人情報等の情報管理体制を構築し、住民にわかりやすく信頼される透明性のある運営に努める。</p> <p>③ 法人会計基準による適正な会計処理を実施し透明性のある運営に努める。</p> <p>④ 会員等の葬儀に際しては、慶弔規程に基づき香典と供花紙をお供えするとともに、親族等から寄付があった場合には初盆にお参りをし、町民に信頼され理解される運営に努める。</p>	随時
2) 理事会の開催	会務の円滑な運営と経営方針を明確にし、事業活動を展開していくため開催する。	年4回開催 5月・10月 12月・3月
3) 評議員会の開催	執行機関である理事会、議決機関である評議員会の責任体制の明確化と機能強化を図る。 (理事16名・評議員19名・監事2名)	平成30年6月 平成31年3月
4) 監事による監査の実施	業務執行の状況及び法人の財産の状況を監査する。 (監事2名・会長)	年4回開催

事業名	目的・内容	予定・実施 回数・時期
5) 部会の開催	① 総務部会（委員6名） 事業計画・予算等各事業の企画・検討 ② 広報調査部会（委員7名） 社協だより等の企画・検討	随時
6) 役員等研修の実施	社協の目指すべき方向性を明らかにする中長期的な計画「地域福祉実践計画」を基本に社協における運営のあり方や、果たすべき役割等についての研修に参加する。	随時
7) 社協・民協合同懇談会の開催	日常的に地域住民の各種相談・支援活動を行っている民生児童委員と社協役員の連携を深め、また各民生児童委員・社協役員の知識と資質の向上を目的に開催する。	平成31年2月
8) 会員制度の推進	本会の事業目的と会員制度の周知を図り、住民の理解と協力の推進に努める。	随時
広報・啓発サービス区分		
1) 社協だより「福祉の心」の発行	社協活動への住民の理解と協力をより一層得るため、紙面の充実を図り、地域住民が必要としている福祉情報を提供する。 （全世帯配付）	年3回発行 平成30年7月・10月 平成31年2月
2) 地域ふれあいひろばの開催	大人も子どもも障がいのある方も一堂に会し、交流やさまざまな体験により「遊び、学び、ふれあう」ことを通して新しい地域づくりの足がかりとすることを目的に開催。	平成30年11月17日 （土曜日）開催
3) ホームページの充実	ホームページで、事業計画・報告、予算・決算、地域活動やボランティア活動、福祉サービス、イベントなど、最新の情報を発信し、福祉情報を提供する。 http://www.shakyo.or.jp/hp/153/	通年
福祉活動推進サービス区分	※支え合いの普及と拡大化支援	
1) ふれあい・いきいきサロン活動の推進事業	住民自身による高齢者の閉じこもり防止や生きがいづくり・介護予防のための場づくりの普及と支援を行なう。 ① サロン活動の充実支援 ② サロンボランティア交流会の開催	随時 平成31年2月 担当役員の配置
2) 見守りネットワーク事業	すべての住民が安心して生活が出来るように、近隣に住む人々による見守り活動が大きな安心となります。そのために、社協役員等が中心となって、地域住民が自主的に災害時要援護者等の安否確認や避難活動が出来る体制づくりを進める。	
3) 安心安全地域づくり事業	① 災害時要援護者訪問調査 高齢者や障がい者などの安全・安心を確保するため、救急医療情報キット（命のバトン）を設置し万が一の救急時に備えます。 ○新規対象者 並びに更新対象者共に担当職員が訪問によって直接聞き取り調査	随時

事業名	目的・内容	予定・実施 回数・時期
	② 安否確認訪問 生活上不安のある独居高齢者等に対し、定期的な訪問を行ない、福祉相談及び安否確認を実施することにより、安心して地域で生活できるように支援する。	随時
	③ 若葉公営住宅入居者見守り事業 高齢者が安心して、自立して生活できるための支援を、将来の超高齢社会に向けた先導的な取り組みとして進めています。 ○入居者宅への定期的な巡回型見守り ○高齢者からの各種相談への対応 ○コミュニティづくりのサポート	随時
4) 配達給食サービス事業	独居高齢者、高齢夫婦世帯等の生活の基本である「食」の確保、バランスのとれた栄養の確保、配食時における安否の確認、健康状態の異常等早期発見、孤独感の解消等を目的に実施。 1食単価 450円（社協で100円助成後）	随時 ボランティア調整会議年 2回実施
5) お楽しみ昼食会の開催	日常的に人との交流が不足がちな一人暮らしの高齢者に対して、交流とふれあいを目的に外出の機会を提供する。	年4回 総研で実施
6) 移動支援サービス事業（福祉運送事業）	公共の交通機関を利用することが困難な車イス利用者等の要介護者及び障がい者の通院などの支援を目的に、無償で移動支援サービスを行う。	随時
7) 歳末激励事業	① 新たな年を迎える時期に、配達食事サービス利用世帯に対し、おせち風料理のお弁当をお届けする。 ② 町内の福祉施設等に対し、ボランティア団体が歳末慰問を実施しふれあい交流を図る。	12月
8) 入学祝品贈呈事業	赤い羽根共同募金の助成金を財源として、子育て支援を目的に、小学校に入学する児童に「漢字の辞典」を贈呈する。	4月
9) 福祉用具貸出事業	① 地域福祉やボランティア等を目的とした活動に対して、車椅子等の物品を貸出し、支援を行う。 ② 緊急時及び冠婚葬祭時及び余暇活動の為、在宅の高齢者・障がい者の移動を目的に、短期間の間車イスの貸出しを行なう。	随時 随時
10) 福祉車両貸出事業	ボランティア団体や緊急時に他の手段がない個人等に福祉車両の貸出しを行なう。 駐車場代等は実費負担。	随時
11) レク用品等貸出事業	① 各ふれあいサロンや老人クラブ、公民館等にカラオケ健康機器（フリーダム）を貸出す。 ② 地域活動の行事や交流・福祉学習や各サロン等にレクレーション用品を貸出す。	随時 随時

事業名	目的・内容	予定・実施 回数・時期
生活支援サービス事業 区分		
1) 日常生活自立支援事業の実施	認知症高齢者や、知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な人の権利を擁護し、福祉サービスの利用援助、日常生活の相談や金銭管理などの援助を行うことで、安心して地域で生活ができるよう支援する。また、利用料の助成をすることで利用者の負担軽減を図る。	随時
2) 法人後見事業の実施	士幌町内において、認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力が必ずしも十分でない人の権利や財産を守るため、本会が法定成年後見人、保佐人、補助人となることにより、本人の権利擁護を図る。 業務の範囲は、民法に定めるところにより財産管理及び身上監護を行います。	随時
3) 心配ごと相談所の運営	日常生活を営むうえで抱える悩みごとについて、あらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行うとともに、誰もが相談しやすい窓口として、他の相談機関等との連携を図り、あらゆる相談に応じられる体制に配慮し、支援に結びつけて行く。	随時
ボランティアセンター活動 事業サービス区分		
1) ボランティアセンター運営委員会の開催	社協理事・ボランティア実践者等から選任し、センターの円滑な運営と事業内容について検討する。	随時
2) 生活支援体制整備事業（受託事業）	地域の中で効果的な介護予防サービスと生活支援サービスの拡充を図り、本町の生活支援体制を推進する。 ①生活支援コーディネーターの設置 生活支援体制の構築に向けてコーディネート機能を担い中心的に進めていく者を置く。（兼任） 生活支援コーディネーターは以下の役割を担う。 a. 生活支援の担い手の養成、サービス開発 b. 関係者のネットワーク構築 c. 地域の支援ニーズとサービスのマッチング ②第2層協議体の設置 地域のさまざまな人・団体・組織が参画し、生活支援コーディネーターを組織的に補完するとともに、さまざまなサービス創出に向けた議論を行う場として「協議体（第2層）」を立ち上げ、住民による住民のためのサービス創出と提供に向けた協議を進める。	随時
3) ボランティアに関する相談・援助、登録・紹介、情報収集・提供	専門員を設置し、ボランティアに関する相談・援助、登録・紹介、情報の収集・提供等を行う。	随時
4) 災害ボランティア活動推進事業	① 災害ボランティア講座 住民一人ひとりの防災に対する意識向上を図ると共に、災害発生時、被災者の生活に関わる多様な支援をきめ細やかに行なう「災害ボランティア活動」の重要性の意識啓発を目的に開催する。	年1回

事業名	目的・内容	予定・実施 回数・時期
5) 各種ボランティア養成	② 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの整備 災害発生時にボランティア活動を円滑に実施するためマニュアルを作成し、体制づくりを進める。	通年
	③ 道社協と「災害救援活動の支援に関する協定」に基づき、道内被災地域での救援活動を積極的に支援する。	通年
	① ボランティア講座の開催 地域の中でボランティア活動に参加する人材を发掘、養成するため、体験機会や学習機会を提供する。	
	② シニアボランティアの養成 高齢者がボランティア活動や地域活動に参加することで生きがいや介護予防へと繋げることを目指し、活動参加の機会を提供する。 ○各種講座の開催	
	③ 各種ボランティア研修への参加 全道や管内規模で開催されるボランティアを対象とした研修や大会へ参加し、ボランティアに関する学習機会や、他市町村のボランティア実践者との交流機会を提供する。 ○ボランティアミニ愛ランド2018 ○とかちボランティア研修交流会 ○その他各種研修会	未定 平成31年1月 随時
6) 福祉教育の推進 (青少年健全育成活動支援事業)	④ ふまねっと運動指導ボランティアの養成 住民主体の健康づくりを支援する目的に、ふまねっとサポーター講習・インストラクター講習の参加費助成、研修会の実施支援。	通年
	① 「こどもの居場所づくり」「児童青少年の体験活動」奨励金交付 子どもたちの健全育成の環境づくりを目的に、体験活動や福祉活動、地域交流等を実施する地域の団体に対し奨励金を交付（1団体20,000円限度）	平成30年5月
	② 福祉教育に関する研修会等の参加支援	随時
	③ 道社協「学童生徒のボランティア活動の普及及び協力校」の指定	平成31年1月
7) 広報・広聴活動	④ 学校で取り込まれる福祉教育授業への支援	随時
	① 「ボランティア情報」の発行 ホットなボランティア情報を提供し、ボランティア活動の広報・啓発を行う。	年12回発行
8) ボランティア活動保険の加入促進	② 必要に応じて町の広報やマスコミ等を利用し各種行事や研修会開催等を広く周知すると共に情報の収集にも努める。	随時
	活動中の万が一の事故によるケガや賠償責任を補償する「ボランティア活動保険」について周知を図り、加入者の増加に努める。	随時

事業名	目的・内容	予定・実施 回数・時期
生活福祉資金貸付事業 サービス区分 生活福祉資金の相談・貸付	低所得者・障がい者・高齢者・離職者等の世帯が、経済的に自立・安定した生活を営むための相談を受け、自立のため資金の貸付が必要で返済が確実に見込まれる者に対し、貸付と援助・指導を行う。	随時
応急生活資金貸付事業 サービス区分 応急生活資金の相談・貸付	低所得世帯等に生活のために必要な応急の生活資金として、自立した生活が営め返済が見込まれる者に対して30,000円を限度に貸付。	随時
【団体活動 運営支援】	福祉団体等を支援するため、事務局を担当し運営強化に努めます。	
①十勝地区身体障害者士幌町分会	身体障がい者の自立と社会活動への参加を促進するため、会員相互の助け合いと社会参加を推進して、障がい者の地域福祉の向上に資することを目的に事務支援を行う。	随時
②士幌町老人クラブ連合会	老人福祉の向上と地域社会の福祉増進を図り、単位老人クラブと協力し、事業参加を積極的に行うことの事務支援を行う。	随時
③士幌町遺族会	英霊の顕彰事業及び戦没者遺族の福祉援護と会の事務支援を行う。	随時
④士幌町共同募金委員会	地域福祉・在宅福祉活動を計画的に展開するための主要な財源である共同募金助成金の安定した確保のため、共同募金運動を積極的に推進・協力をしていく。	随時
⑤ふまねっと・しほろ	高齢者の介護予防（生きがいや健康づくり、仲間づくり）を目的に、運動教室等、安定的、継続的な活動となるよう支援する。	随時
⑥麺打ち同好会	シニアの男性を対象に、ボランティアや地域活動への参加の機会を提供する目的に事務支援を行う。	随時
⑦いきいき遊びクラブ	健康マージャンを通じた仲間づくり、外出の機会の提供を目的に運営支援を行う。	毎週月・金曜日